

スポーツに関する生活者の意識

スポーツには、スポーツをする楽しみだけでなく、スポーツを観る、応援する楽しみがある。また、これらのスポーツを媒介とした、ツーリズムやイベント等、楽しみ方が様々に拡がってきている。

そこで、スポーツやスポーツを媒介とした楽しみについて、生活者にアンケートを行った。

[調査対象]

生活者 WEB モニター 3,043 人 (男女年代均等)

[調査実施時期]

2024 年 11 月

[調査対象地域]

全国

1. 現在+今後実施したいスポーツの上位は、「マラソン・ジョギング・ウォーキング」「ヨガ・ストレッチ・筋トレ」

現在しているスポーツと、現在していないが今後したいスポーツを聞いた結果が図表 1 である。

「現在しているスポーツ」で高くなったものは、「マラソン・ジョギング・ウォーキング」「ヨガ・ストレッチ・筋トレ」。性・年代を問わず、1～2 番となった。

また、「現在していないが今後したいスポーツ」では、「ヨガ・ストレッチ・筋トレ」「登山・トレッキング」「マラソン・ジョギング・ウォーキング」の順で多く、一人でも、皆でも、どちらも気軽にできるスポーツが上位となった。

■図表 1 現在実施しているスポーツ、今後したいスポーツ (複数回答)

※現在している+今後したい=3%以上のものを掲載

■15%以上

(N=3,043)	現在実施している		していないが今後したい		現在実施+今後したい							
	現在している	していないが今後したい	現在している	していないが今後したい	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
マラソン・ジョギング・ウォーキング	27.7%	6.1%	33.8%	39.4%	28.1%	29.2%	31.6%	34.9%	35.4%	37.8%		
ヨガ・ストレッチ・筋トレ	15.8%	8.7%	24.5%	22.0%	27.0%	24.1%	24.6%	26.2%	22.7%	24.8%		
登山・トレッキング	4.8%	8.5%	13.3%	17.3%	9.3%	14.0%	14.6%	14.6%	12.8%	10.8%		
自転車	4.9%	5.2%	10.1%	14.1%	6.1%	9.8%	9.5%	10.8%	11.0%	9.5%		
水泳	2.8%	5.8%	8.6%	9.5%	7.8%	9.1%	8.7%	8.7%	8.7%	7.9%		
ゴルフ	5.0%	2.6%	7.7%	11.0%	4.3%	5.5%	8.5%	9.0%	5.7%	9.5%		
ダンス・バレエ	2.2%	3.8%	6.0%	3.5%	8.5%	10.0%	7.0%	4.1%	4.1%	4.8%		
テニス	2.4%	3.3%	5.7%	6.5%	4.9%	7.0%	7.4%	4.6%	4.1%	5.6%		
スキー・スノーボード	2.0%	3.3%	5.3%	6.5%	4.1%	6.6%	6.4%	4.3%	3.9%	5.3%		
野球	2.6%	2.1%	4.7%	8.7%	0.7%	6.6%	7.0%	3.8%	3.3%	2.6%		
サッカー	2.2%	2.0%	4.2%	7.2%	0.8%	6.1%	7.5%	4.6%	2.0%	0.7%		
サーフィン・ダイビング	0.8%	2.4%	3.3%	3.9%	2.6%	5.0%	3.1%	3.6%	2.5%	2.1%		
バレーボール	1.1%	1.9%	3.0%	3.4%	2.5%	5.5%	3.4%	2.5%	1.8%	1.6%		
バスケットボール	1.0%	2.0%	3.0%	4.2%	1.6%	5.8%	3.6%	2.6%	1.5%	1.0%		

2. 観戦した+今後観戦したいスポーツの上位は、「野球」「サッカー」「バスケット」「バレー」

リアルな試合観戦の有無と興味について聞いた結果が図表2である。「3年以内に観戦したことがある」は全体で3割。性・年代別には『男性』『20～30代』の方が高くなった。一方、「観戦していないが今後したい」は2割。『50～60代』で高くなった。

■図表2 リアルな試合観戦有無と今後の意向（単数回答）

■3年以内に観戦した ■観戦していないが観戦したい ■特に観戦したいと思わない

	3年以内に観戦した	観戦していないが観戦したい	特に観戦したいと思わない
全体 (N=3,043)	28.0%	7.9%	64.1%
男性 (N=1,522)	35.5%	8.9%	55.5%
女性 (N=1,521)	20.4%	6.8%	72.7%
20代 (N=602)	31.9%	4.3%	63.8%
30代 (N=610)	30.3%	5.9%	63.8%
40代 (N=611)	28.2%	6.5%	65.3%
50代 (N=611)	24.9%	11.0%	64.2%
60代 (N=609)	24.8%	11.7%	63.5%

次に、「観戦した+したい」とした人に対して、何のスポーツを観戦した・したいかを聞いた結果が図表3である。「野球」が圧倒的に多く7割。その次が「サッカー」4割、「バスケット」「バレー」2割となった。

先述の「自分のしている・したいスポーツ」では上位に挙がらなかったチームスポーツが、観戦した・したいスポーツでは上位となった。

また、「3年以内に観戦したことがある」は、「野球」「サッカー」で高くなった。一方、「観戦していないがしたい」では、「野球」「サッカー」以外に、「バスケット」「バレー」「ラグビー」も高くなった。

性・年代別にみると、「野球」「サッカー」はどの層でも高くなったが、「バスケット」は『男性』『20～30代』、「バレー」は『女性』『20代』で高くなった。

■図表3 3年以内に観戦したスポーツ、今後観戦したいスポーツ（複数回答）

※3年以内に観戦+今後したい=10%以上のものを掲載

■25%以上

(N:観戦した+したい=1,092)	3年以内に観戦	観戦していないがしたい	3年以内に観戦+観戦していないがしたい							
			全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
野球	53.9%	15.7%	69.6%	71.9%	65.8%	63.8%	63.3%	71.7%	74.0%	75.2%
サッカー	29.3%	14.8%	44.1%	49.3%	35.7%	45.4%	47.1%	47.6%	40.2%	40.5%
バスケットボール	13.5%	11.4%	24.8%	26.6%	22.6%	30.3%	25.3%	24.5%	21.5%	22.5%
バレーボール	11.4%	11.4%	22.8%	19.2%	28.7%	29.4%	21.3%	19.8%	21.0%	22.5%
ラグビー	8.2%	10.1%	18.3%	21.3%	13.5%	21.1%	14.0%	15.1%	20.1%	21.2%
ゴルフ	11.4%	6.2%	17.6%	20.7%	12.5%	17.4%	19.5%	15.1%	16.4%	19.4%
武道・格闘技	7.3%	9.5%	16.8%	20.7%	10.6%	13.3%	15.4%	20.3%	14.2%	21.2%
卓球	7.6%	7.1%	14.7%	14.2%	15.4%	16.5%	12.2%	11.8%	14.6%	18.0%
テニス	6.5%	8.0%	14.5%	14.0%	15.2%	17.4%	15.8%	10.4%	11.4%	17.1%
スケート・フィギュアスケート	4.8%	8.0%	12.7%	9.0%	18.8%	10.1%	12.7%	10.8%	14.2%	15.8%
体操	5.4%	6.2%	11.6%	10.2%	14.0%	9.6%	12.2%	9.9%	10.5%	15.8%
アメリカンフットボール	4.1%	6.0%	10.2%	12.6%	6.3%	15.6%	13.6%	7.5%	5.5%	8.6%

3. 応援するチームがある人は4割。 応援理由は「好きな選手がいるので」 「出身地や住んでいる地域なので」

応援するチームの有無を聞いた結果が図表4である。全体では「ある」が4割。『男性』『50～60代』で特に高くなった。

■図表4 応援しているチームの有無（単数回答）

	■ある	■ない
全体(N=3,043)	41.1%	58.9%
男性(N=1,522)	51.1%	48.9%
女性(N=1,521)	31.1%	68.9%
20代(N=602)	37.0%	63.0%
30代(N=610)	39.0%	61.0%
40代(N=611)	37.8%	62.2%
50代(N=611)	43.7%	56.3%
60代(N=609)	47.8%	52.2%

次に、そのチームを応援する理由を聞いた結果が図表5である。理由の上位は、「好きな選手がいる」「出身地や現在住んでいる地域」「チームや選手が活躍している」「チームの方針や選手に共感する」。

理由の1番目は、「好きな選手がいる」という選手によるところが大きかったが、2番目は「地域」によるところであった。このことから、応援するスポーツチームは、気持ちの上でも、地域とのつながりが強いことが読み取れる。この傾向は、『男性』『40代以上』で、より高くなった。

■図表5 そのチームを応援する理由（複数回答）

(N:応援しているチーム・選手がいる=1,250)

	■30%以上							
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
好きな選手がいるので	46.8%	49.5%	42.3%	45.3%	50.0%	49.4%	46.1%	44.0%
出身地や現在住んでいる地域なので	28.7%	32.0%	23.3%	21.1%	26.1%	32.5%	33.0%	30.0%
チームや選手が活躍しているので	24.7%	23.9%	26.0%	25.1%	26.1%	23.8%	21.7%	26.8%
チームの方針や選手に共感するので	23.1%	26.3%	18.0%	23.8%	26.5%	28.6%	21.0%	17.5%
チームや選手がカッコイイ、憧れるので	17.1%	14.9%	20.7%	24.2%	17.6%	19.5%	15.7%	10.7%
チームや選手が努力や成長している姿を応援したいので	15.3%	12.0%	20.7%	11.7%	16.0%	11.3%	16.1%	19.9%
親や友人など周りの影響で	12.4%	10.3%	15.9%	20.2%	18.1%	10.0%	7.5%	8.2%
そのチームや選手の応援者との繋がりが、できるので	3.9%	4.4%	3.2%	7.6%	3.4%	5.2%	2.2%	2.1%

4. 応援するチームがある人で、「ファンクラブ加入」は1割、「今後加入してみたい」は2割

応援するチームがある人に、応援のためにすることを聞いた結果が図表6である。多かったことは、「チームや選手の成績や情報をチェック」6割。その次が「SNSをフォロー」「グッズを購入」で3割。「ファンクラブに加入」は1割と下がる。逆にみると、今後、まだまだ拡大していける余地があると言える。

■図表6 応援のためにすること（複数回答）

(N:応援しているチーム・選手がいる=1,250)

チームや選手の成績や情報をチェックする	57.8%
チームや選手のSNSをフォローする	27.6%
チームや選手のグッズを購入する	26.9%
ファンクラブに加入	12.6%
応援メッセージを書き込む	11.0%
チームや選手のスポンサーの商品を優先して購入する	10.9%
チームや選手が開催するイベントに参加する	9.1%

「ファンクラブへの加入有無」と、「今後の加入意向」を聞いた結果が図表7であるが、「応援するチームがあり、今後加入してみたいところがある」とした人は2割。但し、先述の観戦意向の高い『男性』『20～30代』では4割と、より高くなった。

■図表7 ファンクラブへの加入・加入意向（単数回答）

■ファンクラブに加入 ■加入してみたいところがある ■特にな

全体(N=1,250)	12.6%	23.0%	64.4%
男性(N=777)	13.9%	25.2%	60.9%
女性(N=473)	10.4%	19.5%	70.2%
20代(N=223)	15.7%	41.7%	42.6%
30代(N=238)	14.3%	37.8%	47.9%
40代(N=231)	12.1%	19.9%	68.0%
50代(N=267)	11.2%	10.5%	78.3%
60代(N=291)	10.3%	10.7%	79.0%

スポーツチームのファンクラブに加入または加入したい人のスポーツを聞いた結果が図表8であるが、多くを占めたものは、「野球」「サッカー」となった。

■図表8 ファンクラブに加入・加入したいスポーツ（複数回答）

(N:ファンクラブに加入・加入したい=445)

野球	33.9%	22.0%
サッカー	17.5%	13.7%
バスケットボール	8.8%	6.1%
バレーボール	7.2%	4.9%
ゴルフ	7.2%	4.7%
テニス	4.3%	3.1%
ラグビー	2.2%	4.5%
武道・格闘技	2.2%	4.5%

スポーツチームのファンクラブに加入している・加入したい人に、ファンクラブ加入の魅力聞いた結果が、図表9である。「優先的に席がとれる」が8割と圧倒的に高くなった。また、その他の特典も5割前後と高く、ファンクラブへの加入には、様々な魅力があることが重要なポイントであることが読み取れる。

■図表9 ファンクラブ加入の魅力（複数回答）

(N:ファンクラブに加入・加入したい=445)

優先的に席がとれる	75.1%
メンバーだけの選手やチームの情報や動画が見れる	54.2%
ファンミーティングなどイベントに招待してもらえる	49.4%
限定プレゼントがもらえる	49.0%
会報がもらえる	46.3%
ファン応援デーなどファン招待デーがある	45.6%
ポイントがもらえる	10.3%

5. スポーツチームの地域活動はあまり認知されていないが、認知者では活動を評価。

スポーツチームの行っている地域活動について、その認知を聞いた結果が、図表 10 である。何らかの活動をしていることを認知している人は3割とあまり高くない。

また、スポーツチームの行っている地域活動を積極的にすべきかを聞いた結果が図表 11 である。認知者が少なかつたため、全体では積極的にすべきと感じる人も少なかったが、各活動の認知者に限ると、どの活動も「積極的にすべき」と評価する人が多くなった。

■図表 10 スポーツチームの地域活動認知（複数回答）

(N=3,043)

地域行事への参加	19.6%
地域の学校や団体に訪問して交流	15.9%
地域のボランティア活動への参加	12.8%
地域住民に対するスポーツ教室	12.4%
病院で過ごす子どもたちを訪問	11.5%
ハンディキャップを持つ人の試合招待	9.9%
職業体験の場（試合運営など）を提供	4.2%
他	0.4%
どれもない	69.2%

■図表 11 スポーツチームが積極的にすべき地域活動（複数回答）

	全体 (N=3,043)	各活動認知者
地域行事への参加	11.0%	48.1%
地域の学校や団体に訪問して交流	10.9%	48.2%
地域のボランティア活動への参加	9.9%	47.9%
地域住民に対するスポーツ教室	8.6%	48.3%
病院で過ごす子どもたちを訪問	9.1%	49.7%
ハンディキャップを持つ人の試合招待	8.6%	50.3%
職業体験の場（試合運営など）を提供	4.7%	46.5%

6. スタジアムを核とした街づくりには、スポーツをする・しないに関わらず期待が高い

スタジアムを核とした街づくりへの期待を聞いた結果が図表 12 である。スポーツをする・しないに関わらず、それらへの生活者の期待は高い。期待の上位となったものは、「広域避難場所としての機能」「新たな地域の魅力創出」「地域コミュニティ活動」といった「地域の生活に根ざした活動」。若年層は地域活動が希薄になってきていると言われている中、下記では「新しい地域コミュニティ活動」において、若年層の期待が高く、今後の展開が注目される。

■図表 12 スタジアムを核とした街づくりに期待すること（複数回答）

(N=3,043)

防災拠点、地域の広域避難場所としての機能保有	30.9%
新たな地域の魅力を創出	26.9%
地域の雇用を創出	26.8%
観光客など、地域以外の人の集客	25.2%
新しい地域コミュニティ活動	23.5%
レストランやホテルなど、スポーツと合わせた楽しみ創出	22.9%
行政や自治体と連携した活動	20.9%
地域で発電や蓄電、電気の利用を共有しエネルギーを効率利用	14.1%
新しい地域住民（定住者）を呼び込む	11.2%

■ 25%以上

	20代	30代	40代	50代	60代
防災拠点、地域の広域避難場所としての機能保有	19.4%	24.4%	32.1%	36.8%	41.7%
新たな地域の魅力を創出	23.4%	23.9%	25.7%	28.6%	32.7%
地域の雇用を創出	15.8%	23.8%	28.6%	32.7%	33.2%
観光客など、地域以外の人の集客	19.6%	22.1%	25.9%	30.9%	27.6%
新しい地域コミュニティ活動	30.4%	26.1%	20.3%	21.3%	19.4%
レストランやホテルなど、スポーツと合わせた楽しみ創出	20.9%	21.8%	24.7%	24.5%	22.7%
行政や自治体と連携した活動	15.6%	19.5%	24.5%	21.9%	22.7%
地域で発電や蓄電、電気の利用を共有しエネルギーを効率利用	12.5%	14.3%	16.5%	12.1%	14.9%
新しい地域住民（定住者）を呼び込む	11.3%	10.8%	10.5%	11.3%	12.3%